



2018年4月6日  
東京地下鉄株式会社  
東日本旅客鉄道株式会社

## 東京メトロ×JR東日本共同プロジェクト 「TOKYO SPORTS STATION」の第2シリーズが始まります！！

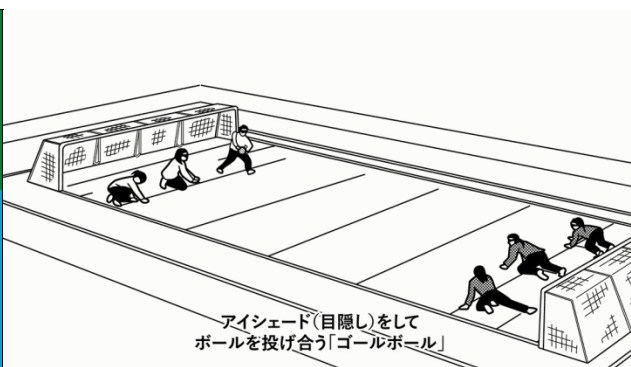
東京地下鉄株式会社(代表取締役社長：山村明義、以下「東京メトロ」)と東日本旅客鉄道株式会社(代表取締役社長：深澤祐二、以下「JR東日本」)は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(以下「東京2020大会」)のオフィシャルパートナー(旅客鉄道輸送サービス)として、東京2020大会の各競技の見どころ・観戦ポイントを紹介する「TOKYO SPORTS STATION」の第2シリーズを開始いたしますのでお知らせいたします。

第1シリーズでは、新競技を中心に東京2020オリンピック競技を紹介してきましたが、第2シリーズでは東京2020オリンピック競技に加えて、新たに東京2020パラリンピック競技も紹介いたします。「TOKYO SPORTS STATION」は電車内のビジョンでも放映いたしますので、ぜひご覧ください！

- 1 主催 東京メトロ、JR東日本
- 2 概要 「TOKYO SPORTS STATION」第2シリーズ：2018年4月9日(月)～随時
- 3 第2シリーズ紹介競技
  - #05 ゴールボール
  - #06 バスケットボール
  - #07 車いすバスケットボール
  - #08 ウィルチェアラグビー
  - #09 セーリング
  - (参考) 第1シリーズ…2017年10月30日～
    - #00 始動告知、#01 スポーツライミング、#02 スケートボード、#03 空手、#04 サーフィン
- 4 動画展開 東京メトロ：Tokyo Metro Vision  
JR東日本：トレインチャンネル  
※特設YouTubeチャンネル  
([https://www.youtube.com/channel/UCtgug6IzakjeRR4\\_suuBV4g](https://www.youtube.com/channel/UCtgug6IzakjeRR4_suuBV4g))  
からもご覧いただけます。(2018年4月6日(金)14:00以降随時公開)
- 5 ポスター展開 東京メトロ、JR東日本の電車内にポスター掲出

■ 「TOKYO SPORTS STATION」競技紹介 (#05 ゴールボール)

・動画



・ポスター

Tokyo 2020に  
乗り遅れないための

# TOKYO SPORTS STATION #05

YouTubeで  
動画を見よう!

ゴールボール編  
Paralympic Sports

**サポーターは、  
無言の声援を届ける。**

数入りのゴールを使うのが特徴的なこの競技。ゴールボールは、数入りのゴールを投げ合う対戦型の球技です。選手は鈴や足音などを頼りにゴールを守ります。ゴールが入ると1点が与えられ、前半12分より多く得点した方のチームが勝ちとなります。

**足音さえも、  
フェイントにしよう。**

わずかな足音を手探かりにゴールを守る選手たち。相手はそれを選手にとり、ショットを打たない選手が投げけるような動きをして、足音でフェイントをかけることも。ブラインドスポーツならではの、音の駆け引きは要チェックです。

**時速70キロを、  
音だけで止める。**

アイシェードと呼ばれる目隠しをしているが、向かってくるショットのスピードは想像以上。男子のトップ選手になると、なんと時速70kmに達することも。追力あるショットの応酬は必見です。

**【ゴールボールとは?】**  
ゴールボールは、アイシェード(目隠し)をした選手3人1チームで、18m×9mのコートを舞台に、数入りのゴールを投げ合う対戦型の球技です。選手は鈴や足音などを頼りにゴールを守ります。ゴールが入ると1点が与えられ、前半12分より多く得点した方のチームが勝ちとなります。

**【競技会場】**  
幕張メッセ Cホール  
(2018年3月現在の情報です)



東京2020オフィシャルパートナー(旅客鉄道輸送サービス)